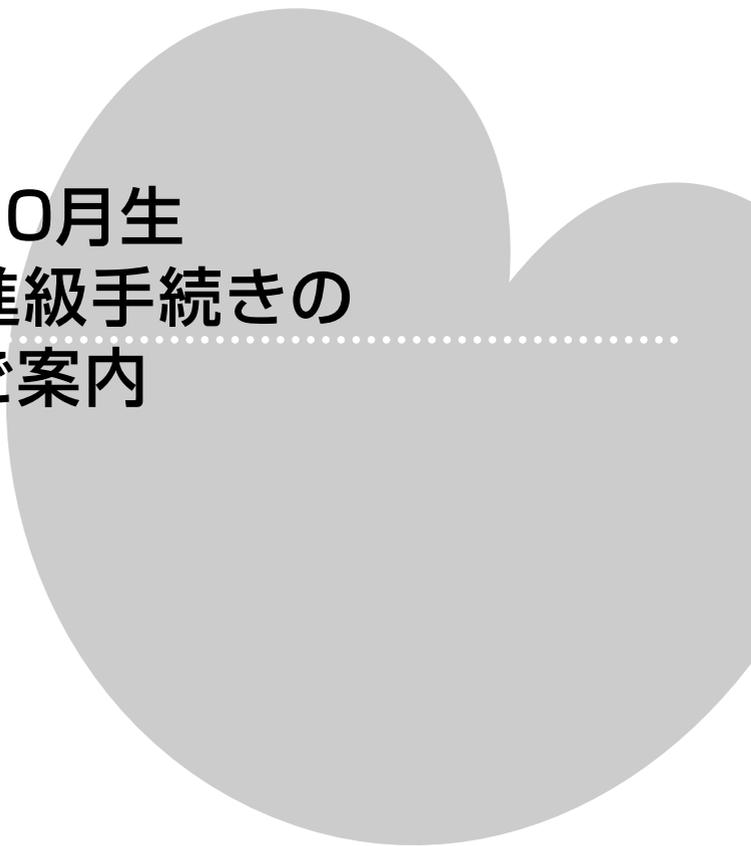


6部

10月生
進級手続きの
ご案内

A large, light gray abstract shape resembling a stylized cloud or a series of overlapping circles is positioned in the lower right quadrant of the page. A horizontal dotted line extends from the right edge of the text '進級手続きの' across the page.

1 正科生の進級手続き

1 進級手続きの流れ

●来年度学費納入依頼書＝7/22発送済み

- ・学費納入をされた方へ順次「履修希望科目登録用紙（OCR）」を送付しています（早めに履修登録を行えば早めに教科書が届きます〔8/20以降発送予定〕）。
- ・下表の日程で諸手続きを行えば、新しく履修登録した科目でも9/9以降開講のスクーリングを受講可能です。

●進級の流れ・履修登録の際の諸注意（下記①②を参照）

- ①『学習の手引き』4章「1 正科生の進級手続き」
- ②履修登録用紙に同封される手紙

●スクーリング受講可能日と入金・履修登録期限（正科生の場合）

	学費納入期限	履修登録期限（必着）
9/9～25の夏期スクーリングⅥ	8/4(木)	8/18(木)
9/30～10/23の秋期スクーリングⅠ	8/25(木)	9/8(木)
特講・福祉心理学5（自分さがしの心理学）	9/1(木)	9/15(木)
特講（子どもの貧困）		
9/15申込締切の社福演習Bほか		
10/28～11/13の秋期スクーリングⅡ	9/22(木)	10/6(木)

※9月末までのスクーリングは10月より休学する方も、これまでに履修登録を行っていれば受講できます。

2 復学希望者

現在休学中で10月からの復学希望者は、「復学願」（『学習の手引き』巻末）を、7/31（遅くとも9/30）までに提出してください。「復学願」の受理後、次年度の学費納入依頼書をお送りいたします。

3 休学希望者

10月からの休学希望者は、『学習の手引き』4章Ⅱを確認のうえ、「休学許可願」（『学習の手引き』巻末）を9/30までに提出してください。「休学許可願」の受理後、休学費納入依頼書（10,000円）をお送りいたします（平成17年度以前の入学者は除く）。

注1）休学は1年単位です（復学は平成29（2017）年10/1以降可能）。

注2）休学中はレポート提出、科目修了試験受験、スクーリング受講はできません（図書館：利用可。『With』：送付されます）。

注3）来年度の学費（8～12万円）は納入しないでください。

4 在籍期間満了予定者へのお知らせ

1年後の平成29年9月末で在籍期間が満了（1年次入学者＝10年 2年次編入学者＝9年 3年次編入学者＝8年）となる10月生の方は、下記のとおりです。

- ①学籍番号07で始まる正科生で休学したことのない方
- ②学籍番号06で始まる正科生で休学を1回（1年分）した方
- ③学籍番号05で始まる正科生で休学を2回（2年分）した方
- ④学籍番号04で始まる正科生で休学を3回（3年分）した方
- ⑤学籍番号03で始まる正科生で休学を4回（4年分）した方

卒業や目指す目的を是非成就していただければ、と心より願っておりますが、学習計画上、下記の点にご注意ください。

- (1) ①～④の方は、在籍期間が満了（1年次入学者＝10年 2年次編入学者＝9年 3年次編入学者＝8年）後の休学はできませんので、在籍期間を延長希望の方は、本年10月～休学をしてください。休学しない場合は来年9月末で在籍期間が満了になります。⑤の方は休学ができませんので、来年9月末で在籍期間が満了になります。
- (2) 在籍期間が満了し退学になっても、再入学は可能です。再入学した場合、これまでに修得した単位の多くは認定されますが、再入学年度のカリキュラム表にない科目の一部は認定されない場合があります。

5 転学科希望者

『With』116号 p. 46～47記載のとおり、転学科希望届の受付は7/20で終了しました。

2 10月に編・再入学を希望する場合

①科目等履修生から10/1付で正科生1年次・2年次・3年次に(編)入学

②正科生を退学or卒業し科目等履修生に再入学

上記①or②を希望する場合は下記を行ってください。

- ・8/31までに「再入学予定者 事前申告書」（『With』116号巻末）を提出（未提出で9月のスクーリング受講・科目修了試験受験・レポート提出を行った場合、再入学できない場合があります）。
- ・10/15までに出席（『募集要項 2016』をお取り寄せください）。

注1）『学習の手引き』4章IIIおよび『学生募集要項 2016』をよくご

確認ください。

注2) 「退学願」(正科生)、もしくは「学生証返納・修了届」(科目等履修生)の提出も9/30までに行ってください。

注3) 再入学時点でのカリキュラムが適用されるため、現在のカリキュラムとは変更になる場合があります。

※特別支援学校教諭免許状および高等学校免許状(福祉)については、取得ができなくなります。

注4) 現在の学籍で9月に科目修了試験受験・スクーリング受講・レポート提出をする場合は、それらの結果が出た後に再入学手続き(出願)を行ってください。

【学習上の空白期間のご注意】

10月以降の学習開始が新学籍での履修登録完了後となるなど、手続きには時間がかかるため、学習上の空白期間(レポート提出、スクーリング受講、科目修了試験受験ができない期間)が発生します。

3 科目等履修生の継続手続き

※『学習の手引き』4章IVもよくご確認ください。

1 来年度継続を希望される科目等履修生

【平成25年度入学以外の10月生科目等履修生の方へ】

大学より、「継続手続き書類」が届きましたら(8月上旬・幼保特例講座受講者は8月下旬)、よくご確認のうえ下記手続きを行ってください。

・継続手続き書類(「履修希望科目登録用紙(OCR)」等)の返送=10/10まで

・授業料（1単位あたり6,000円）の納入＝10/20まで

※今回の継続にあたって在籍更新料30,000円は不要です（学籍番号が03～11TZ・14TZ・14TG・14THで始まる10月生は平成29年9月末まで、12TZ・15TZ・15TG・15THで始まる10月生は平成30年9月末までは、毎年履修登録・継続手続きを行えば在籍更新料なしで在籍が可能です）。

※高等学校教諭免許状（福祉）の「教職に関する科目」につきまして、平成28年度に正科生の履修者がいない可能性があります。その場合、履修登録はできませんのでご注意ください。

【平成25年度入学10月生 科目等履修生の方へ】

大学より、「在籍更新手続き書類」が届きましたら（8月初旬）、よくご確認のうえ下記手続きを行ってください。

・在籍更新手続き書類（「履修希望科目登録用紙（OCR）」等）の返送＝10/10まで

・授業料（1単位あたり6,000円）、在籍更新料（30,000円）の納入＝10/20まで

※学籍番号が13TZで始まる10生科目等履修生の方は、平成28年9月末で一旦現在の学籍が修了扱いとなり、平成28年10月以降も継続して学習する場合は在籍更新手続きおよび在籍更新料が必要になります（以後3年間在籍すること）。

※学籍番号は変更になりません。

※平成28年度入学者のカリキュラムが適用されます（ただし、高等学校教諭免許状（福祉）、特別支援学校教諭免許状を希望している方は、平成25年度入学者のカリキュラムを継続することができるものとします）。

2 来年度学習の継続を希望されない科目等履修生

「科目等履修生 学生証返納届」(『学習の手引き』巻末様式19(幼保特例講座受講者のみ希望によって様式15))に学生証を貼付のうえ送付してください。

※単位修得証明書の発行をお急ぎの場合

8/31の提出期限にかかわらず早めのレポート提出を！

3 現在在籍中のすべての10月生科目等履修生の方へ

- ・継続手続きを行わない場合の在籍期限＝9/30まで
- ・今年度のレポート提出期限＝8/31まで(ただし早めにレポートを提出しないと「再提出」の機会がなくなりますのでご注意ください)
- ・科目修了試験受験・スクーリング受講期限＝9/10まで(9/9以降のスクーリング受講を希望する方は別途お申し出ください)

※科目等履修生に休学制度はありません。新年度の履修登録を10/10までに行わない方は修了となり学籍を失います。

スクーリング・アンケートより(5)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●福祉社会学 赤塚 俊治 仙台

- ・福祉の視点からの社会学について、先生の実体験などを取り上げた授業がとても分かりやすかった。ホームレスや差別部落の問題など、報道されないような事実を知ることが社会学の理解を深める上で、とても重要であることを認識させられました。
- ・福祉を知れば知るほど社会の面白さを痛感します。先生のパワフルな講義の中で語られる、海外の福祉現場の衝撃は、今日本で暮らす自分自身のあり方、環境を今一度見直す、「人間とは何か」という点で考えさせられました。

●精神科リハビリテーション学 稲毛 義憲 仙台

- ・精神障害者の現状を知ることができてよかった。先生も常に精神障害者と接しているので、具体的な臨床場面の話を聞くことで現実的な支援が想像できた。
- ・精神障害者が回復し社会復帰するためには、丁寧なりハビリが必要であり長期間を要するという点に考えさせられた。

●心理療法 秋田 恭子 仙台

- ・心理療法の導入、展開、発展について文献が多様であることを知ることができました。歴史を知ることにより、現在から未来への望みを深められることができました。
- ・グループワークの体験を通して相手を理解したり、自分自身の言動に気づかされることが多くありました。普段の生活場面で考えていることをすぐに口にするよりも、一度考えてから発言することの大切を感じました。

●心理学概論 佐藤 俊人 東京

- ・普段仕事などで人と接する時に、今までの経験からこういうやり方だと上手くいくような気がするのと何となく心がけていたことなどが、理にかなっていることだと分かったことがいくつかありました。とても興味深い内容が多く、今後もより深く学んで行きたい。
- ・気質は生まれた時から既に持っている性格であるので、親の育て方で性格は決まらないことを知った。赤ちゃんは白紙の状態ではなく、独立した人格を持っていると考えて、接しなければならぬと思った。

●介護技術 後藤 美恵子 仙台

- ・人間の生活は動きに満ち溢れているということを改めて感じました。介護する者は、介護を受ける者の動きと支点、重心を意識して介護することが大切であると感じました。根拠ある介護を意識していきたいと思います。